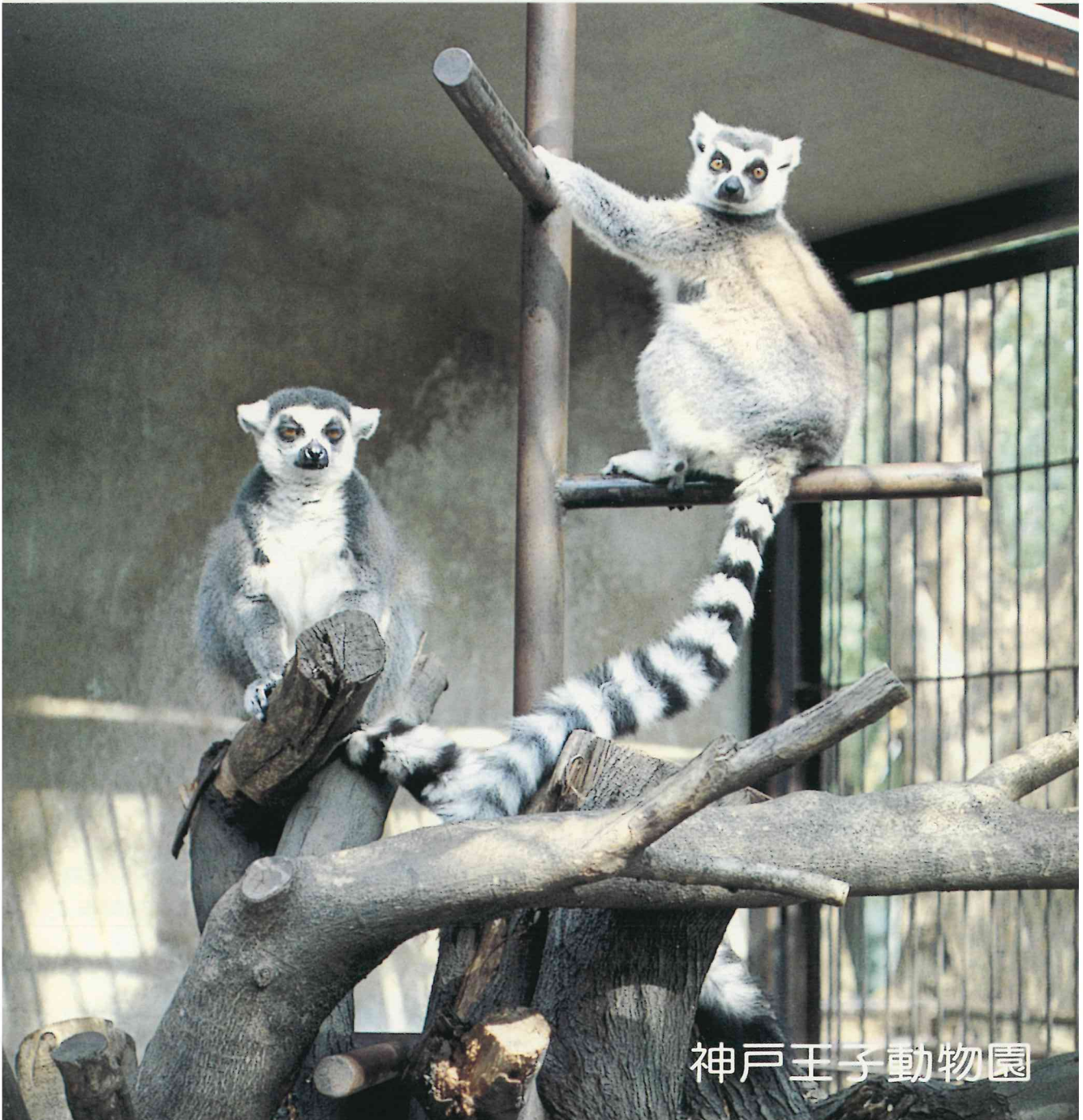


# はばたき

1980 NO. 9



神戸王子動物園

## 春を待ちながら

吹き荒ぶ木枯しに死んだ様に肩寄せ合っていた山肌の樹々も、心なしか枝体の力を抜き、束の間の休息に心を解き放っている様に見える。

春が待ち遠しいのは樹々だけではない、人里に赤い実を啄みにやって来る野鳥の群、山深く孤独な生活を営む獣達、破れはてた巣の糸に心細くぶらさがっている蜘蛛の卵、数知れぬ生命が密かに、辛抱強く、躍動の季節を待ち焦がれている。

その様にして、此の世に四季が生れた昔から、生物は長く冷たい冬という試練と春の歓喜とを繰り返して来た。しかし越年する蝶の蛹などは、この過程なしには成虫になれぬというのだから不思議なものである。

私は六甲の裏側に住まいしているのだが、表とは気候もかなり違い、ほんとうに寒さの厳しい処である、その代わり自然もまだまだ残っていて、移り変わる四季の野山を存分に楽しませてくれる。しかしその美しさに酔いしれていると、ふと考えてしまう。私たちの家の建ち並ぶこの土地に草や木が生い茂り、そこにおせぶ程の花が咲き匂っていたであろう日のことを。おそらく虫や獣たちの楽園であったろう遙か昔のこの土地を！

ここを追われた先住者達はいったい何処へ行ってしまったのだろう。

自然が彼らに与えた試練は、彼らの生活にある意味での生活のリズムを与えているともいえるが、私達はいったい彼らに何を与える事が出来るだろう。彼らの犠牲と私達の思いやりとの均整がどこで崩れてしまったのか——— いろいろ考えた末、いつもどこかで自分をごまかして、また慌しい生活にもどる私である。

知恵と感情をもつ、自然から選ばれた唯一の生物である人間に、今、何かが問いかけられている様である。

春はまだ遠い、明日あたりまた厳しい寒波が戻って来よう。しかし、人と人との間は勿論のこと、人と他の生き物達との間は、さらに暖かくしていきたいものだ。

ただただ懸命にはばたいていった鳥が、傍を吹き過ぎる優しい風に気づいた時、初めてそれは、滑る様に虚空を切る、なめらかな飛翔へと変っていくのである。

### も く じ

- 春を待ちながら 2
- 特集 中国の動物園 3
- 動物育児日記 7
- こどもたちの横顔 8
- 手探り飼育記(その2) 10
- 動物なぜなぜ問答 12
- 動物もの知り手帳 13
- トピックス 14
- お知らせコーナー 15

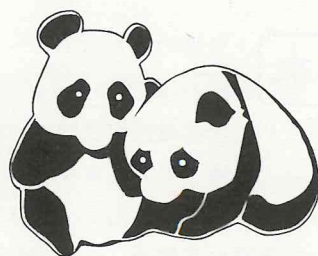
#### 表紙の写真

わおきつねざる  
(霊長目・キツネザル科)

神戸市立王子動物園 園長 山 神 正

# 特集

# 中国の動物園



◻友好都市天津市水上公園に動物大使が行く！.....

**王** 子動物園の人気者、チンパンジーの銀太と秋ちゃん、それに河馬の子供が昨年の

10月、中国建国30周年記念日に天津市の水上公園と人民公園にそれぞれ親善使節として贈られました。

天津市民は大変な喜びで、新聞やテレビで報道され、銀太と秋ちゃんの家（猿猴館の中央の一番良い所）の前はすごい人の波で埋っていました。冬の気温は零下15度と大変寒くなるので、室内運動場も大きく、ガラス張りの見やすいものでスチーム暖房のある立派な家に住むことになりました。もう元気一パイで見物の良い子達に愛敬をふりまいていました。



**水** 上公園の広さは200ヘクタールと王子動物園の35倍の大きさで、この1部を動物園として現在建設が続けられています。

水上公園は名のとおり、100ヘクタールの湖水が公園の中央にあり、休日ともなればカラフルな服装の子供達、人民服の大人達が1日をゆっくりと楽しむために訪れ、遊覧船が行きかい、ボートがたくさん浮かんでいます。

1日10万人の入園者があると聞きました。

売店ではアイスクャンデーやジュースが売られ、公園で生産された美味しいリンゴも買うことができます。

**こ** れまでに親善動物としてキリン2頭がすでに天津市に渡り、水上公園で元気に暮らしています。キリンは世の中が落ち着いて良い事があると現われるという伝説上の動物のことで、非常にお目出たい動物として知られています。このキリンが第1回の親善大使として天津市民



に贈られ、これからも友好の輪が広がり、動物交流だけでなく幅広い交流が神戸市民との間に続けられるよう天津市民も心から望んでいます。

**い** ました、いました！ パンダ(大熊猫)が3頭、広い芝生のグラウンドで遊んでいます。竹の葉を与えると、手で竹をつかみ食べはじめました。可愛いな！、神戸の良い子にぜひ見せてあげたいなと思いました。

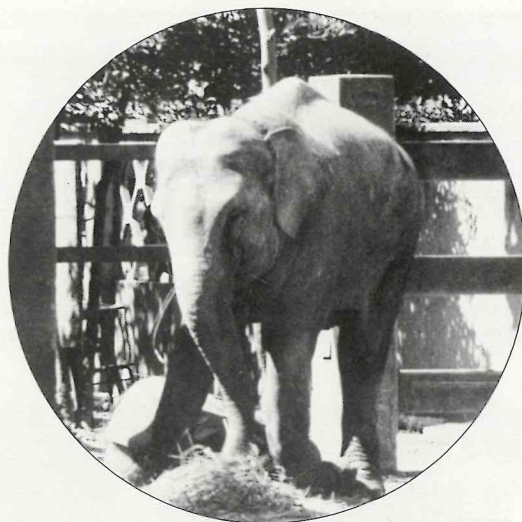


中国には珍しい動物が住んでいます。まだ世界中のどこの動物園にも居ない<sup>きんしこう</sup>金糸猴という全身金色の長いふさふさした毛で被われ、ブルーの顔をした猿が4頭いました。

今度、天津市から神戸市に贈られる黒葉猿のこともお知らせしましょう。タイ・ビルマ国境の山奥にしか住んでいない全身が真黒で目のまわりと首と頭が白色のスマートな尾長猿科の猿です。主食は木の葉なので現在王子動物園では<sup>にれ</sup>楡やねずみもちの木を植え、新しい展示室も建設するなど受け入れに万全をつくしています。

**北**京の動物園はさすがに歴史も古く動物の種類も多い立派なもので1日ではとうてい見物が出来ないぐらいです。

有名な人工授精のパンダの子供も見ることができましたが、新築まもない「は虫類館」は十分見ごたえのあるもので、中国産の毒ヘビだけでなく、世界中のヘビ、ワニ、カエルまで百数



十種もの展示室があり、一順するのに1時間以上もかかりました。

池の中島には鶴類が放し飼いにされています、この一角に宮崎市長から周恩来首相に贈られたフラミンゴが展示されています。「今年も赤ちゃ





んが生まれたのですよ」とうれしいお話しを聞きました。まだグレーのうぶ毛しかはえていない3羽が親の後をよちよちするのが見られました。見物のお客が我々をみて「日本から来たフラミングだよ！」と子供に説明しているお父さんもいて市民に親しまれている様子がわかり楽しくなりました。

**象**の出産と生存は日本ではまだありませんが、上海の西郊公園では象の出産があり、元気に育っているのが見られました。母象は雲南省で捕獲されたもので、初めての出産だったとのこと。母象は片時も子供のそばをはなれず、鼻でたえず子象をなぞっている様子は本当にほほえましいものでした。

西郊公園も広く、75ヘクタールもあり、ここにも広い湖水が造られ、野生のガン・カモが住み、大空を飛び回っています。全翼が2mもあるペリカンが頭上数mのところをへん隊を組んで飛びすぎたときは驚ろいてしまいました。初めは羽を切って飛べないようにして飼育していたそうですが、だんだん繁殖して飛べるペリカンがうんと増えたので、今の様な光景にお目にかかれたのです。

めったに木に登らないと聞いていた上海のパ



ンダが我々を熱烈に歓迎してくれたのか、すぐ目の前で木に登ってくれました。

隣りは小パンダ舎です。ここにも大きな木が植っていて、ときどき枝ぶたいに散歩に出しまい、1週間も帰って来なかったとか……

森と湖の広い動物園のうらやましい出来事です。  
(権藤真禎・福田元二)

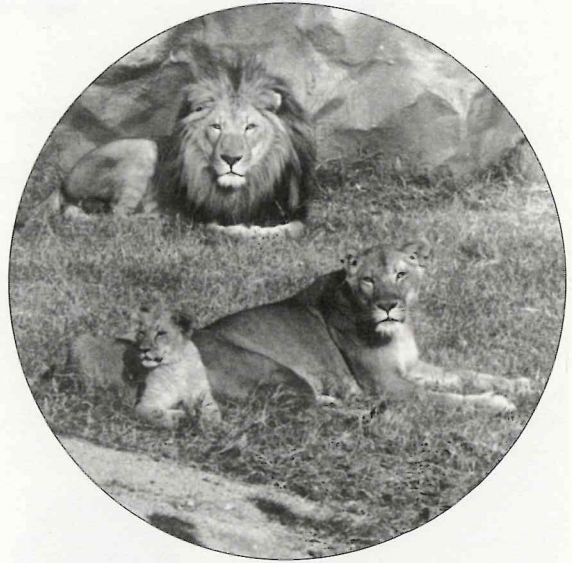
# 動物育児日記

## 四ツ子のライオン

昨年、7月6日、ライオンのかわいい4つ子の赤ちゃん（オス1、メス3）が生まれました。私達は、オスをレオ、メスをルミ、ルナ、ルルと名付けました。生まれた時は800～1000gの子ネコぐらいの大きさで、目も見えません。

1週間もすると目も少し開き見えだし、お腹がすくと、大きな声を出しギャー、ギャー鳴き出します。お乳は2時間おきぐらいに飲み、オシッコやウンチの世話も全部お母さんがします。1ヵ月もすると、体重も5kg以上に成長し、足も強くなり、少しふらつきますが走る事が出来るようになります。この頃になると歯も少し生えてきます。約2ヵ月間は寝室でお母さん(ララ)と生活し、お乳だけで育ち、その後、肉を少しづつ食べるようになり、80日ぐらいで初めて運動場に出て、兄や姉といっしょに遊べるようになり、1日2kgの肉を食べます。でも、2ヵ月以上も寝室で育児に専念するお母さんライオンは、大変な仕事で4頭も育てるとやせてしまいます。お母さんに感謝したいものですネ。

(岸田一也)



## インドオオヅルのヒナ

昭和54年8月20日、インドオオヅルが1羽生まれました。鳥類は外見では雌雄の区別のはっきりしたもの（キジ・ニワトリ等）とわからないもの（ツル・白鳥・サギ等）とあり、一般には前者は雌が、後者は雌雄共同で抱卵するといわれています。このインドオオヅルも雌雄交代しながら33日間卵を抱いてヒナがかえりました。

孵化後約4時間もすると、親鳥のまわりをヨチヨチと歩きはじめます。穀類を主食している親鳥とちがひ、ヒナはほとんど動物性（干しエビ、ミミズ、アジ等）を親鳥の嘴から食べるのです。大きすぎると食べやすく砕き、土や砂の汚れは水で洗って与える親鳥は、ヒナを大変可愛いがって育てます。10ヵ月が過ぎると親鳥と同じくらいに成長しますが、親子の関係はなくなり、「子離れ」が始まります。そんな時、分離のタイミングを間違えれば、ヒナは親に追われ、逃げ場をなくして殺されることもあります。それは、次の巣作りが近づいている自然の掟なのです。

(安福 守)



# こどもたちの横顔

## —— モンキー 一家の秘蔵っ子たち ——

1980年 申年。

王子動物園では、例年になく、猿の赤ちゃんがたくさん生まれ、元気に育っています。そこで、皆さまによりすぐりのベビーたちを、写真でご紹介します。

ベニガオザルの  
ベビー誕生  
9月26日生れ



スローロリスの  
ベビー誕生  
10月23日生れ





ブラザーゲノンの  
ベビー誕生  
7月4日生れ



マンドリルの  
ベビー誕生  
10月18日生れ



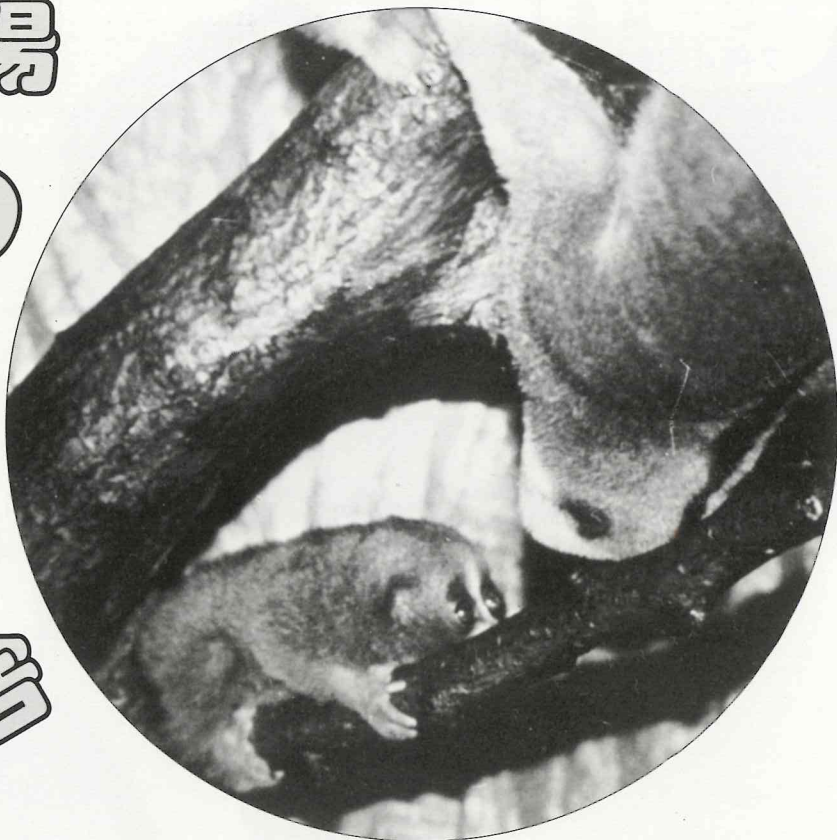
(撮影：福田元二)

# 太陽

手探り飼育記

(1962)

## の動物舎



### ☒スローロリス

10月23日と11月4日にスローロリスの子供が2匹続けてモッコリと生まれました。本当に「モッコリ」といった感じの、細い毛玉の中に小さな2つの目がくりくりとのぞいている愛くるしい子供達です。今年4月にオープンした“太陽の動物舎”でジャコウネコに続くおめでたでした。

このスローロリス、その名前のため、よく来園者の方にリスの1種と間違われるのですが、実は霊長目ロリス科スローロリスという原始的ではあれ、れっきとした猿の仲間なのです。動きがのろいためスローの名を甘んじて受けているわけですが、昆虫のような獲物をつかまえる時や、物音を聞きつけ身を隠す時はかなりすばしこい動きをします。それでも平常の時の動作はやはり遅くのろいため、まるでスローモーション

フィルムを見ているような錯覚におそわれることがあります。

さて、この2匹のかわいい子供達ですが、生まれ落ちた時から眼が開いているにもかかわらず、自分の親を見つけるのがとてもヘタなのです。と言うのは、ある時には産みの母親にしがみつ き、又ある時には他人の母親の背中にしがみつ きといった態で、自分の親への執着がひじょうにあっさりとしているようなのです。それにも増して、母親の子に対する関心の薄さは、他の(真)猿類では考えられない程で、1匹が平然と2匹の子供を腹と背中にしがみつかせて歩き回っている間、もう1匹の母親は知らぬ存ぜぬという風で枝につかまって背を丸めて寝ているといったあり様。それでもかわいいが時にはあくまで母親らしく、嫌がる子供の両足をしっかりと両手でつかんで、ていねいに何分もかか

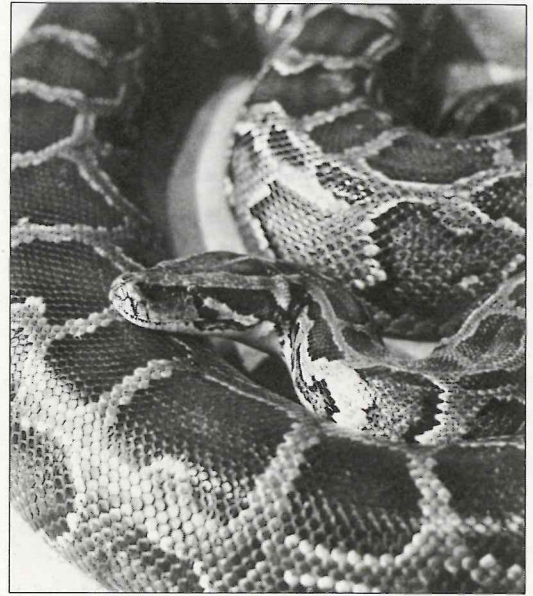
って口で毛づくろいしてあげる微笑ましい光景も見られます。一面放任、一面過保護のこのような子育てが、飼育環境下故に起ったのか、又果して自然の中で通用するのかどうか疑問ですが、単独生活をするというこの動物だから、自然下では見間違ふような他人の子供や母親と出会う機会が少なく案外うまくいっているのかも知れません。

その自然環境の中で彼等は、昆虫・木の葉・木の実・小鳥の玉子などを主食としていますが、当園のスローロリス達はとりわけバナナが好物です。他にミルワーム（甲虫の幼虫）、バッタなども与えています。

私達の世界に夜が来ると、太陽の動物舎ではタイマーがはたらいて昼光灯がつき朝となります。スローロリス達は皆んな背を丸め両腕の中に顔をつっ込んでマリモのように人工の昼を過ごすのです。（村田浩一）

#### ☒ヘビの共喰い事件

こちらは、生きたものしか食べてくれない体長5mのインドニシキヘビと6.5mのアミメニシキヘビの餌つけです。1ヵ月近くも小さな木箱に入れられたまま到着したニシキヘビたち、顔は傷だらけでやせきっていました。早速室温28~30°Cと保温してやり食欲のでのを待つこと2週間。部屋の隅で丸くとぐろを巻いたままのときは、いくらエサを与えても見向きもしません、それどころか逃げてしまうありさま。さらに数日たった頃、からだの色がどすぐろく、あのヘビの皮ふの光たくが全く消え、眼まで膜が張ったように白ずんできた。はて、病気では？ご心配いりません。これはヘビヤトカゲに見られる“脱皮”の前ぶれだったのです。そうした翌朝プールに全身を沈めたニシキヘビ、倒木の枝や、岩の角に皮をひっかけ、古いひと皮をぬいでいました。口の前から尾まできれいに脱皮をすませたそのヘビのからだは、まさに玉虫色、あざやかな光たくです。しかも、その動きが見違えるほど敏しうで、ガラス越しの私たちの



動きにも、首をS字に身がまえだしたら、エサやりGOのサインです。

そこでタイミングをはずさないよう、すぐに生餌を与えなくてはなりません。

そしてオープンして9ヵ月。もうずい分と食べてくれたし、肥ったヘビに、つい私たちは、気をゆるめはじめた頃のある日、初めの頃の鎮重さをつい忘れ、無造作に与えたひとつの生餌に2頭のニシキヘビが、ばーと同時にとびついたのです。

それが、大変なことに大きいヘビが、同時にとびついた小さなヘビの頭を生餌といっしょに啗へ巻きついてしまったのです。

あれよあれよと見ているうちに、その小さいヘビを生餌といっしょに飲みはじめたのにはあわてました。放っておけば正に共喰いさしてしまうところです。間発を入れずヘビ舎にとびこみ、飲みはじめた大きいニシキヘビの首に棒や手で刺激を与え、ようやくひき離すことができたとき、ほんとうにほっとしました。

やはり、どのようなときにも、鎮重に、手早く、一頭一頭それぞれに食べさせてやることだと、あらためて勉強された共喰い事件でした。

（亀井一成）

## 動物なぜなぜ問答

問1 「動物園のクマはなぜ冬眠(穴ごもり)しないか？」

(答) クマは七属八種に分類されており、南米のメガネグマとボルネオ・スマトラ等のマレーグマ(赤道の南北にまたがる)以外はすべて北半球に住んでいます。北半球といっても、北極圏から赤道附近まで広範囲に分布していて、その生息地の環境や食物の関係により穴ごもりをする種類としないものがあります。穴ごもりをしない種類は年中暖かい地方に生息するものと、北極グマです。ただ北極グマも、雌が妊娠をした場合のみ穴ごもりをします。



ヒグマ・ツキノワグマ・アメリカグマ等冬に寒くなる地方のものは穴ごもりをします。穴ごもりといっても、体温は殆んど下がらず、時々目をさます程度の眠りです。寒い冬になると、クマがいつも食料にしている植物や動物が無くなり、ところによっては雪が積もり、食べ物に困り、その間動き廻っていたのでは、食べ物が無いのに体力が消耗してしまいます。だから秋の間に食べれるだけ食べて、体力をつけ、皮下脂肪をたくわえて、来年の春まで寒さをさけて、穴の中にもり眠るのです。雌はこの穴ごもりの時に子供を生みます。穴ごもりをするクマでも、動物園で飼育されると、年中飼育係のおじさんが飼料を与えるので、穴ごもりの必要がありません。一番寒いところに住んでいる北極グマは、常にアザラシ・イルカ・鯨・魚などを食べ、年中食べ物に不自由しないので冬眠の必要がありません。このようにクマは、それぞれの住んでいるところの気候や食べ物の有無により暮らし方が違ってきます。(橋本昭一)

問2 「逆さのままのコウモリ、子どもに乳を飲ませるときは、どのようにするのでしょう？」

(答) ふつうコウモリの集団はオス、メス別々のグループを作るもので秋に交尾をうけ、春にどのメスもが、同じ日にいっせいに子どもを生むのです。一産一頭でまれにふた児があるともいわれています。

かつて王子動物園でマレーオコウモリが1頭生まれましたが、その赤ちゃんコウモリもやはり、逆さのまま母親の胸にぶらさがっていました。さて、乳はどうして飲むのでしょうか。のぞきこもうとしても、すぐ母親が指の間に発達してできた飛膜(ひまく)で包みこむように隠してしまうのです。

あまり近づくと怖がって哺乳もできないと考え遠ざかってやると、なんとまあ、かわいい小さな逆さの顔で、母親の両わきにある乳をおいしそうに吸っているではありませんか。

それに、オシッコもまた、親と同じに、小さなからだを、ぐるりと半回転、顔を上にして、お尻を下につきだす格好で、ピューと小さなオシッコをとばすのでした。

ところで空中を飛ぶとき、口をあげ、人間の耳では聞きとれない超音波を出す小形のコウモリを捕えたりすると小さな声をだしますが、このオコウモリたち、エサ時になると大変、激しい声でチュッチューと大声をあげ、せりあっているのです。こうした折り不用意にオリに入るとまたまた、いっせいにオシッコの雨です。(亀井一成)



# 動物もの知り手帳

— なんでも知っちゃお！ —

皆さん方のなかには自宅で犬・猫・小鳥などを飼っておられる方がいると思います。そのえさに使う材料の種類は非常に少ないと思われませんが、動物園では、飼育している動物の種類が大変に多く、肉食性・草食性・雑食性に大別しており、飼料としても野菜・果物・肉類・魚類・乾草・雑穀類・配合飼料等があり、動物によりそれぞれ与えるものがちがいます。現在、王子動物園で1年間に使用している飼料の種類は全部で約90種類になり、1日に約1トン使用し、1日の飼料代は15万～20万円になります。そこでそれぞれの飼料が金額面よりみて全体の何%をしめているか、またどの動物に与えているかを次の表にしました。

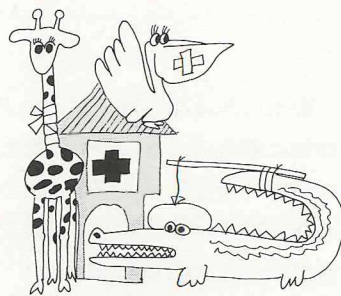
項目 種類	%	飼 料 名	主な給与動物
野 菜	16	キャベツ・白菜・ホウレン草・馬鈴シヨ・サ ツマイモ・人参・南キン・砂糖キビ 8種	象・キリン・カバ・サイ・兎・ モルモット・猿類・カンガル ー・ダチョウ等
果 実	16	リンゴ・ミカン類・バナナ・ブドウ・ナシ・ カキ等 12種	猿類・インコ類・小鳥類
穀 類	3	トウモロコシ・小麦・青米・麻の実・アワ・ ヒエ・キビ・ヒマワリの種・フスマ等 18種	小鳥類・カバ・キリン
配合飼料	7	ドッグフード・草食獣用ペレット・成鶏用配 合・マイナーフード・水禽用ペレット等10種	クマ・猿類・フラミンゴ・キ リン等草食獣
魚 類	17	活アジ・冷凍アジ・ドジョウ・オキアミ・ダ シジャコ・魚粉等 7種	アシカ・ペンギン・海鳥類・ コウノトリ
肉 類	19	馬肉・鯨肉・鶏手羽先・鶏頭・鶏肝臓・鶏卵 ウズラの卵等 11種	ライオン・トラ・ヒョウ等ネ コ科の動物・ワニ
乾 草	16	チモシー・スーダングラス・ルーサン・ハイ キュウブ・ケーンキューブ・ワラ 6種	象・カバ・サイ
乳 製 品	3	小牛用ミルク・ドライミルク・牛乳・肉食動 物用ドライミルク等 8種	猿類・ネコ科クマ科の幼獣
添 加 物	1	食塩・鈣塩・カルシウム・ボレー・骨粉 5種	各種動物
そ の 他	2	食パン・トマトジュース・黒砂糖・レバー野 菜等 5種	鳥類・な虫類・ネコ科の動物 以外のもの
計	100	90種	

以上のように動物園では、それぞれの動物に応じた飼料を与えていますので、来園された場合には勝手に物を与えないようにしてほしいものです。  
(福田豊光)

# トピックス

## 動物病院着工

園内で飼育している動物の健康を保つため、又、外部から導入する動物の検疫を行うため、かねてから計画が進められていました動物病院の新築工事が11月20日から始まりました。場所は園の南端で、鉄筋コンクリート2階建て、面積は延200㎡、1階には、手術処置室、入院室、解剖室、2階には検査室、人工保育室、事務室などがあり、今年の5月には完成します。これで動物たちも安心して暮らすことができます。なお、手狭になっていた飼育員の管理室も動物病院の隣りに建てられます。



## ラマの赤ちゃんが生まれました。

昨年12月24日に可愛いラマの赤ちゃんが生まれました。オスで生れた時は、高さ1メートル・重さ12.5キログラムでした。寒さにもめげず、母親に寄添って元気に走りまわっています。

ラマはラクダの仲間で、南アメリカの高山地帯に住み、今から約3000年前のインカ文明が栄えたところに、家畜化された動物です。



## 太陽の動物舎でバナナが実のりました。

太陽の動物舎の中央にある熱帯植物温室には13本のバナナの木を植えています。このうち3本が実を付け、そのうち1本が熟したため11月25日収穫したところ69本もありました。形は売っているバナナと比べ、太短かく、味は甘みがやや少く酸味があり、くだものらしい?味とのこと。チンパンジーやゴリラにも試食してもらいました。チンパンジーは初めはしきりに眺めていましたが、やがて皮をむいておいしそうに食べました。  
(谷岡正之)



日頃、「はばたき」をご愛読くださりまして、ありがとうございます。  
さて、「はばたき」の今後の編集参考とさせていただきますので、  
裏面アンケートにご記入のうえ、ご協力をお願いします。

き り と り 線  
の り し ろ

神戸市灘区王子町3-1

おそれい  
りますが、  
50円切手  
をはって  
ください。

神戸市立王子動物園内

「はばたき」編集係 行

6  
5  
7  
-  
□  
□

おところ \_\_\_\_\_

おなまえ \_\_\_\_\_

でんわ \_\_\_\_\_

1) あなたは、……………

男  女

10代  20代  30代  40代  50代以上

2) 王子動物園に来られたことは、……………

ない  以前に1度だけ  ときどき  よく来る

3) 王子動物園の印象は、……………

よい  まあまあ  わるい

わるい場合は、具体的に

---

---

---

---

---

4) 「はばたき」を、どこで求められましたか、……………

動物園で  郵送してきた  その他 \_\_\_\_\_

5) 「はばたき」の編集について、……………

よい  まあまあ  続みにくい (具体的に) \_\_\_\_\_

6) 「はばたき」の写真について、……………

よい  まあまあ  わるい (具体的に) \_\_\_\_\_

7) その他今後取り上げてほしいテーマなど、……………

---

---

---

---



# お知らせコーナー



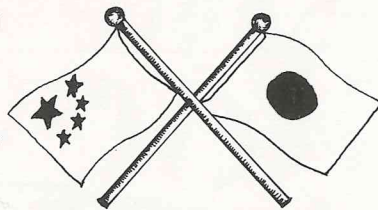
## ❖太陽の動物舎の映画ができました。

太陽熱を利用した省エネルギー型の太陽の動物舎は完成以来順調に運転していますが、最近見学者が増え、大いに注目されています。そのため、動物舎の紹介や装置の仕組みをわかりやすく解説した映画を作り、見学者や会などに映写しています。もし、団体などで映写、貸出し御希望がありましたら申し出下さい。(16mm、カラー、音声付、約13分)

## ❖中国・天津市から新しい仲間がやってきます。

今年の春、天津市の動物園  
ってきます。

やってくるのは、<sup>くろはざる</sup>黒葉猿と  
いへんめずらしい、オナガザ  
い羽根におおわれためずらし



いずれも中国が原産地で、それぞれひとつがいつづ贈られます。

王子動物園のほかの仲間と同様、よろしくお願ひします。

から、めずらしい仲間がやっ

いて、日本の動物園ではた  
ルの仲間と、<sup>しろかげい</sup>白火鶏という白  
いキジの仲間です。これは、

## 編集後記

はばたき第9号を、お届けします。

前号で紹介しました太陽の動物舎は大変な人気で、休日には時々入場を制限する程です。特に水面下のワニの生態や、大こうもりの夜の行動が入場者の目を集めて居ます。そこで本号でも飼育担当者の立場から飼育のうら話を色々集めました。動物園のお母さん役の人々の苦労を知って頂ければと思います。

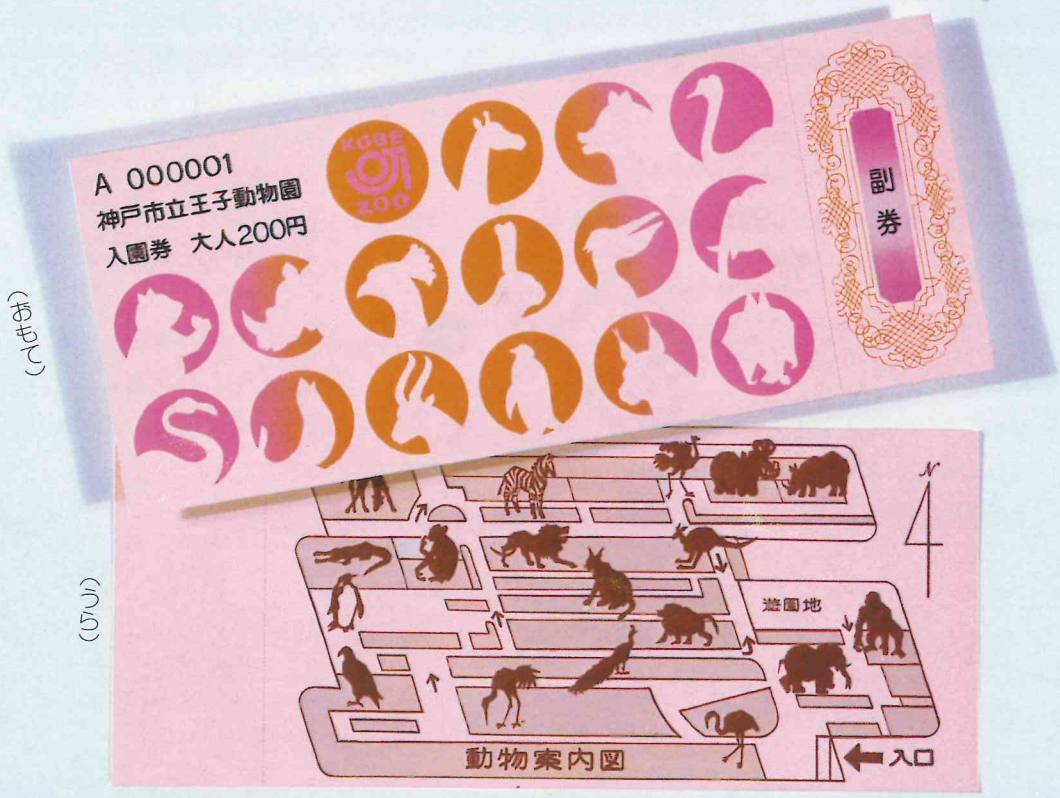
本文の中にもありますが友好都市の天津の動物園へ今度はカバ1頭とチンパンジー2頭が親善使節として送られました。そして天津からはやがて日本では珍らしい黒葉猿とシロカケイが送られて来ます。これ等の珍客を迎える新居が今急ピッチで造られて居ます。

陽春4月にはこれ等の新人が皆さんを歓迎してくれるでしょう。

王子動物園は来年開所30年を迎えます。

今記念の催しの計画が色々考えられています。内容については、いずれお知らせできる機会があると思います。

(志保田進)



新しい入園券のデザインが  
できました。  
4月から、販売の予定です。



海のまち 新しい世界——

**ポートピア'81**

1981年春開催 神戸ポートアイランド博覧会協会

はばたき 第9号 昭和55年2月15日 発行

編集：神戸市立王子動物園

発行：神戸王子動物園協会  
神戸市灘区王子町3丁目

定価 1部100円

8023000 (H)